

第6回 高校生との意見交換会

～光の窓から日本の空を～



令和5年2月4日（土） 14：30～16：30
場所 光市議会本会議場



次 第

- 開会セレモニー
- 議会からの説明
- 高校生の主張
- 休憩
- 高校生と市議会議員の意見交換会
- 閉会セレモニー

1 高校生の主張

聖光高等学校 【発表者】林 健太郎 さん



中学三年生の頃に流行した新型コロナウイルス。当初はあまり危機感もなく日常生活を送っていましたが、全国的な感染者増加に連れ、私生活ではマスクの着用や手指消毒が義務付けられ、外出自粛などの行動制限がかかるようになりました。全ての人々がいつもと違う日常生活を過ごす日々が続きました。部活動の野球も自分たちの代で気合が入っていたときに試合が次々と中止になってしまい、目標を見失うこともありました。中学校の修学旅行では規模を縮小しての県内一周の旅行でした。まさか自分たちの代でこのようなことになるとは思っていませんでした。新型コロナウイルスは、中学校生活のみなど楽しい思い出もたくさん奪っていきました。

高校入学後もすぐ新型コロナウイルスの影響で休校になり、身近な人が感染してとても不安を感じ、新型コロナウイルスが終息することを願うばかりでした。厳しい状況の中でも少しずつwithコロナの生活が日常となり、当たり前前の生活が戻ってきました。昨年11月に行われた高校生活最大の行事である修学旅行。当初の予定通り3泊4日で関東方面に行くことができとても良い思い出を作ることができました。その楽しい思い出を作るために陰でたくさんの方々が働いてくださっていることを知った時、支えてくれている方々に感謝の気持ちをもって生活しようと強く思いました。それと同時に今の生活が比較的当たり前に行っていることは当たり前ではないということを感じました。日常生活が大きく変わっていく中、今の私の目標は小学3年生から続けている野球の集大成として、夏の大会に野球部全員での出場をし、悔いのないプレーをすることです。そのために日々の練習を無駄にせずに取り組んでいます。支えてくれている周りの方々のおかげでたくさんの思い出が作れているんだという感謝の気持ちを忘れずに1日1日を大切に過ごしていきたいと思えます。

○早稲田議員

林さん、ご意見ありがとうございました。

コロナの時のご自身の体験等のお話を今伺いました。通常であれば、楽しい行事や部活動が盛りだくさんで充実しているはずの中学三年生の頃から新型コロナウイルス感染症の流行の影響により、様々な行動制限や楽しい行事の中止などがあり、皆様方は大変辛かったり寂しかったりした時代を過ごされたことと思います。

コロナ禍も3年目を迎えて感染防止をしながら、徐々に日常生活を取り戻しつつあります。昨年は修学旅行に行けて良かったですね。それはとても楽しみにされていたと思います。また、来年の夏の大会に向けて野球の練習に目標を持って取り組んでおられるということで、やっぱり目標を持って、そういうふうに頑張るという姿勢が素晴らしいと感じました。

そして何より一番感動したのは、最後におっしゃられた感謝の気持ちを忘れずに一日一日を大切にしていきたいと言われた言葉です。私たちもコロナの流行により日常生活等において不自由な思いをしてきましたけれども、逆にその中で当たり前のことに対する感謝の気持ちとか、たくさんの方への感謝の気持ちを感じることができたように感じています。

これは感想ですけれども、私も林さんの最後におっしゃられた言葉のように、感謝の気持ちを忘れずに一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。



○萬谷議員



発表ありがとうございました。まさに、皆さんにおかれましては、皆さんの前後2～3年の方々が本当にコロナ世代と言われてもしょうがないぐらい、コロナに振り回された日々だったと思っています。本当に10年後20年後、皆さんが出会ったときに、あの頃は大変だったねとか、どうじゃったねとかってというような話をしながら、笑い飛ばしてもらえるときが来てくれればと本当に心の底から思っております。

確かにこの数年、私も含めて、ハラハラして生活してきました。本当にコロナに感染したら、君たちで言えば、クラスメートやチームメイト、そして家族、友達に迷惑がかかる。特に、コロナのせいで大会や発表の場が少なくなっている中で、そこでまたコロナになって出れなかったっていうような話も実はよく聞きました。

そういうところで、心のやりどころのないのは、仕方がないんだけど、でも、すごく残念な気持ちになったっていうところも、君たちもそうだし、君たちの親もそうだし、そして僕たちもそうだとこのところが正直なところだと思っています。

本当にこれにつきましては、ある小学校の子供が、自分がコロナに感染したときに、家族にごめんね、ごめんねって泣きながら謝ってたっていう話も聞いたことがありまして、そういう話でいくと、子供のメンタルケアというか、君たちもしっかり心に何かわだかまりがあれば、それをしっかりと吐き出してもらいたいと思っています。

その中で、やっぱり修学旅行に行けたということは、本当に良かったと思っています。先生方や親御さん方のおかげだと思っていますので、しっかりと感謝してもらいたいと思いま

す。

それで最後になるんですが、野球部だそうで、ご存知かもしれませんが私も光高校の野球部のOBでして、去年の夏の大会はしっかり覚えています。聖光高校が光高校を破った試合、そして、逆に今年は光高校が勝ち上がって行って、春の甲子園に出れますけど、やはりチーム一丸で戦っていくというのは本当に強いことだと思っています。

その中で、やっぱり相手チームを調査して研究して、そして対策を考えて、そして練習する。支えてくれる周りの方々に感謝する気持ちを忘れずにと言われました。そこを胸に留めて頑張るって、もう油断やおごりっていうのはあんまりないと思いますので、しっかりと悔いのない試合をしてもらいたいと思っています。

僕としては、光市にある2つの高校が切磋琢磨して、強くなってほしいっていうか、本当に私個人的にはそう思っておりますので、頑張ってもらいたいと思います。期待しております。

光高等学校 【発表者】井上 実優 さん



光市は、年々人口が減少しており、活気がなくなってきたというのが現状です。この問題を解決するためには、光市の魅力をより多くの人に知ってもらうことが必要だと思います。そこで、イベントを開催すれば光市に人が来るきっかけになるのではないかと考えています。

光高校では、総合的な探求の時間に光市をさらに良い市にするためのイベント案を実際に考える機会がありました。ここでは、春はイースター、秋はスポーツ大会など、春夏秋冬その季節に合ったイベントを行うという案や、光市の魅力のひとつである虹ヶ浜海岸を活かしたマリンスポーツや海カフェなどのイベントを考えている班、海岸でゴミ拾いを行い、ペットボトルのスノードームを作るという案など、ここでは紹介しきれないほどたくさんの案が出ていました。その中で、私の班が考えた案をこの場を借りて紹介させて頂きたいと思います。

イベント名は、光グルメフェスティバルです。このイベントは、島田駅などの駅や市役所などで個人経営の飲食店を集めて、食べ比べを行うというものです。また、その際に体験コーナーを設け、ものづくり体験などの様々な体験が出来る場所を設けます。そうすることで、このイベントを通して、地域の人たちとの交流を深め、伝統などを受け継ぐことができると考えました。また、個人経営のお店を選んだ理由としては、コロナ禍で経営に支障がでてしまったという飲食店もあると思ったからです。そこで、そのお店の経営を支援し、イベントに来た人はもちろん、その知り合いの人などが実際にお店に足を運んでくれるきっかけになると考えました。

また、このようなイベントを行う際に、SNSにイベントのことを発信してくれた人には特典を付けるなどすれば、SNSを通してイベントはもちろん、光市についてたくさんの人に知ってもらえる機会になると思います。私の班が考えた案は以上です。

人口減少や高齢者の増加は光市だけでなく、たくさんの市が抱えている問題だと思います。もちろん都会の方が商業施設もたくさんあり、私も含め、若い世代の人はどうしても都会に出たいと思っています。しかし、都会に疲れて帰省をした時に、やっぱり地元は落ち着くなと思える、そんな存在であってほしいと思います。

最後になりますが、光市では人が優しく自然が豊かだといういい点があることを光高校に

通っている中で感じています。そんな光市がこれからも愛される市であり続けるためにも、光市の魅力をたくさんの人に知ってもらうことが重要だと思っています。また、人口が増えることで公共交通機関の充実や商業施設の充実に繋がります。そのための手段としてイベントを開催することが有効なのではないかと私は考えています。

○笹井議員

井上さんのグルメフェスティバルの提案につきまして、自称市議会1のグルメとっております私の方から答弁させていただきます。実は3年までほぼ同じような名前でグルメグランプリというイベントが室積で2回ほど開催されたんですけども、コロナでそういう飲食イベントが中止になってきております。



その間、街中に人もいなくなって飲食店などは大変でした。今はコロナも落ち着いてきましたので、ようやくそういったイベントを実施しようということで、光市の方でも補助金を設けて企画をされている団体もあります。現在、実施されているイベントでは「光市のカフェ巡り」みたいなイベントや3月4日には室積でとれた魚介類を使った「北前船がやってきた」というグルメイベントが、これは市のホームページに両方とも掲載されていますので、見てください。そういうことを実施しておりますが、本当に飲食業が苦しい状況です。

あと、光市には名物がありません。例えば、岩国なら「岩国寿司」、柳井なら「茶がゆ」、防府なら「天神鱧」など、いくつかその地域の名物があるのですが、光市にはありません。それはこれから作っていかなくちゃいけないと思っています。広島のお好み焼きも今は有名ですけど、歴史的に見ればまだ70年程ですので、取り組めばできると考えております。

こういうイベント、さらに井上さんの提案にあったようにグルメやものづくりみたいなものは、実現できれば、もっと裾野が広がるし、若い方でも料理人やパティシエになりたいという思いを持った方がおられると思います。そういう方が増えるような取り組みができればと考えているところでございます。

○仲山議員



総合的な探究の時間に考えられたという話で、光市に活気を生むイベントを提案していただいたと思いました。

グルメフェスティバルという誰もが楽しみにしている「食」に関するイベントに注目されたというのはさすがだと思いました。また多くの人を引きつけるテーマでもあり、コロナの影響を受けている事業者にも目を向けてらっしゃるのが、すごいなと感心いたしました。

また、SNSによる発信に特典を付けるという波及効果を高める発信のアイデアであるとか、今も笹井議員も述べた通り「ものづくり」や他の内容と掛け合わせるというアイデアで相乗効果を狙うということも、大いに参考になる企画だと思えます。今もお話がありましたけれども、光市でも取り組んでいるものもありますので、ご提案のアイデアを活かせる部分もあると思っております。

総合的な探究の時間に考えられたという他のイベントについても一部紹介をしていただきました。季節を織り込んだイベントであるとか、光市自慢の海を活かすといったアイデア

であるとか、環境美化と環境意識の啓発を掛け合わせるみたいなアイデアが見えていたと思います。それぞれとても魅力的なものでありました。またそれらについても一層聞いてみたいと思いました。

高校生の企画したイベントが、実施されているっていうようなまちを想像してみますと、これは良いまちだな、魅力のあるまちだなと想像できます。幾つもハードルあるかと思いませんけれども、後押しをしていければと思っています。素晴らしい提言ありがとうございました。

聖光高等学校 【発表者】清松 梨花 さん



誰もがSNS等で情報を得られる現在、それらを活用して、光市を活性化させるために私たちに何ができるかを考えました。

まず、光市の高校生主体で、企画、運営するイベントを行うことです。そういったイベントにより、周辺の店舗の活性化や、公共交通機関を利用する人が増えるなどの経済効果が生まれるだけでなく、SNS上で多くの情報を共有する私たちが主体となり、発信していくことで、学生を通じて多くの人々にイベントの存在を知ってもらい、光市に来ていただく機会を増やすことができるのではないかと考えました。

次に、光市のシンボルとなる場所を作ることです。光市には自然豊かで風光明媚な場所がたくさんあります。そこで、光市といえばここという場所を数ヶ所作り、その良さをSNS上で発信していくことで、光市のシンボルとしてその場所をアピールできるため、山口県はもちろん、他県からも観光客を呼べるのではないかと考えました。例えば、虹ヶ浜では、サンドアートや虹ヶ浜マルシェなど市民が集い、誰もが楽しめるイベントが開催されていますが、あまり浸透していないのが現状です。そこで、私たち市内の学生が協力して情報発信を行うことで、SNS上はもちろん、家族や友人を通じてイベントを広め、今以上に参加者を募ることができると思います。参加者が増えることでイベントの規模も大きくなり、その場所の良さも多くの人に伝えられ、人が集う場所としても、光市のシンボルとしても、その魅力を十分に発信していけるのではないかと思います。

世代の垣根を超えた、イベントや企画の運営を行い、学生である私たちも、光市の活性化に貢献していければと思います。

私は自然豊かな光市が大好きです。これからの時代を担っていく私たちの力で、この生まれ育った光市の良さを多くの人に伝え、活気のある町を作り上げていくことをお約束します。

○中村議員

清松さん、発表ありがとうございました。光市を活性化させるために、私達に何ができるかというのを考えましたというところ、これだけでも本当に素晴らしいなと思いました。自分が高校生の頃、本当そういうことを1ミリも考えたことがなかったんじゃないかと思って、自分なりに恥ずかしくなりました。素晴らしいことだなと思いました。

まずその上で、高校生メインでのイベントを考えていきたい、企画運営していきたいと、



そういうことでしたけれども、本当に大人が入らない高校生メインで、自分たちだけで企画してスケジュールも立てて運営していくということは、すごく話題にもなりますし、それをまたSNS上で多くの情報共有をして発信していくことは、すごく広がって行って本当に光市のPRにもなると思いますので、ぜひ、実行してほしいと思います。

次にありました、光市のシンボルとなる場所をつくるというところなんですけれども、全体を見ると、今ある場所とか、やっぱりイベントとかも大切しながら新しいものをつくるということだったんだと思いますので、これも両方、今あるものもそうですし、新しいものも作っていくという意味で素晴らしいことだと思っています。イベントやイベントの企画をしたり運営するということは本当に大変なんですけれど、今まではSNSとかユーチューブを見たりとか、ティックトックを見たりとか、インスタを見たりとか、イベントに行ったりとかする側だったと思いますけど、企画運営するとなると、やっぱり違う側になっていきます。

自分から発信しないと、やっぱりお客さんも来てくれないし、みんなも注目してくれないというふうになりますので、今までとは違う世界が見えてくるはずですよ。そういう意味ではすごく勉強にもなりますし、とても活動としては良いことだと思いますので、素晴らしいなと思います。ぜひやってもらいたいなと思います。先ほどもありましたように、今あるイベントもSNSを使ってですね、どんどん発信して行ってほしいなと思います。

最近、何日か前に某回転寿司チェーンでいろいろな動画を撮って、あげたりするということがありましたが、ああいう使い方をすると、また違う意味でSNSが悪くなりますが、いい意味での方を皆さんにはしていただきたいなと思います。皆さんが本当に得意とする今ありましたSNSを上手にを使って、光市の魅力を伝えて行ってほしいです。光市は、皆さんのパワーを本当に今必要としておりますので、とても期待しております。

○田邊議員

清松梨花さんの主張、大変良かったです。今までの2人の方の主張も聞いてきたんですけど、主張の中の「起承転結」の部分で、最初に清松さんが伝えたいその部分がイベントの部分が出てきて、その次にまた深掘りしてシンボル、次の部分が「起承」ときて「転」、特に最後に繋げる部分でイベントの企画の運営を行い、学生である私達も光市の活性化に貢献していきたい。その上で、最後に強い活気ある街を作り上げていくことを約束すると、素晴らしい主張だと思います。



私もツイッターを少しやっているんですけど、ツイッターのつぶやきなんかでツイートして、結構反応があると嬉しいもんですね。リツイートされたら、また嬉しいというところがあります。そういったところで、今、清松さんが言われるのはハッシュタグ光市イベント高校生とか、ハッシュタグ光シンボル高校生みたいな形で、やっていくんじゃないかなと思います。そんな中でやっぱり拡散してもらって、光市を全国的に十分認知してもらおうと、そういった意味では、本当にいいと思います。

今回のこの高校生との意見交換会の部分も今日書いて、ぜひとも感想なんかをツイッターなりで拡散していただきたいなと思います。議員と高校生がこういった形で、意見交換会を行って、そういったものを光市で行った。そういうのを拡散してもらって、光市はもちろんの事、全国的にも高校生と議会が同じ場所に集まって、皆さんの意見を取り入れて、良い国

にしていきたいと私は思っておりますので、ぜひともお願いします。

そして、大学なり、社会人になってももちろん、光市のことをどんどんアピールしていただきたいと思います。今後、若い人のいろいろな考えを私どもも伺うことがあると思うので、ぜひとも、若い人の意見を参考にしますので、どうぞよろしくお願いします。

光高等学校 【発表者】野村 武輝 さん



現在、光市の投票率は年々低下の傾向をたどっています。最近行われた選挙でも投票率は63.61%で、決して高い数字とは言えません。18歳選挙権が導入される前と後でも数値はあまり変わっておらず、これは18歳選挙権があまり意味をなしていないと言えます。その理由の1つとして、若者に対する政策が欠けているのではないかと思います。実際、光市は福祉保健部に高齢者支援課を設けていたり、インターネットで調べてみても高齢者に対する保健福祉計画や、介護保険事業計画など高齢者に対して多くの政策を行っています。

一方、若者に対する政策を調べてみてもこれといったものがあまり出てきません。光市は高齢者の占める割合がとても高いので仕方ない部分も多いのですが、やはり自分に直接関わるものが少ないと選挙に行こうと思いにくいです。また、若者に対する政策を積極的に行っている場所に移住したいと思ってしまいます。私は光市に10数年住んでいますが、この政策があつてよかったなというものが特に思い浮かびません。そして、若者向けの政策が特に何も思い浮かびませんでした。友達に聞いてみても同じことを言っていました。なので、どうしても政治に無関心になってしまいがちです。

そのため、若者に対する政策を増やすべきだと思います。具体的な例でいえば若者が楽しめるレジャー施設を作ったり、住みやすい街にするために子育て支援を行うのがいいと思います。高校生の立場で言うと、市営バスが通る道を増やしたり、先ほどと重なりますが楽しめるレジャー施設があればいいと思います。こういった若者への政策などを増やすことで、自分たちに直接関わることを意識し、選挙に行こうという考えになると思います。そして、投票率が高まり、選挙への関心が高まると思います。また、そういった活動を行うことで光市に興味を持つ市外の方々が増え、光市の人口増加、若者増加につながり光市の活性化、それに伴う選挙の活性化という良い循環につながると思います。

僕たちは1年生の時に公民の授業で選挙について様々なことを勉強し、その中で18歳選挙権についても学びました。そのときに思ったことは、「この年齢の自分たちにとっては難しすぎる」でした。光市の詳しい現状やそもそも政治についても授業で少し学んだだけで、いきなり投票をしてくださいと言われてもさすがに難しすぎると思いました。なので、市から高校生へある程度の説明があると僕達も考えやすくなり、より選挙に積極的になれると思います。光高校には総合的な探求の時間という授業が設けられており、その時間を活用して説明を受け、市の方々に質問をすることでより理解を深められると思います。また、市の方々にとっても高校生の思いをより深く聞く事ができる良い機会になると思います。

また、18歳というまだ未熟な人間が投票するというのは難しいことなのでそちらの投票率に焦点を当てるのではなく、一度中年層と高年層の投票率に焦点を当てるのも1つの手段だと思います。社会の中で実際に生活してきた方々の考えを参考にしたり、その方々がきちんと投票する姿を見て、自分たちもしっかりしようという考えになると思います。

○西崎議員

まず、皆さんのところへ〇×カードがあると思いますが、毎日、新聞を読んでないという方は×の方を取って挙げてみてください。

(ほとんどが×を挙げた。)

わかりました。最近よく、若者の活字離れ、小説とか本は読まないと言われていています。今、手を挙げてもらったように、ほとんど8割から9割の高校生が新聞を読んでいないんです。

私が高校生の時はどうだったかという、私は非常に新聞を読むことが好きでした。中学生の頃は、初めに相撲や野球から入って、それから社会面も非常に面白かったです。どこの家に強盗が入ったなどですね。それから今度は政治面、選挙の面、あの政党が何議席取ったとか、そういうふうな新聞記事を毎日読んでいました。

それで、学科も、当時私が高校生のときはもう50年以上前なのですが、たしか現在社会という教科があったと思います。大変好きでした。そういうことで、政治や選挙に興味を持つには、やはり新聞を読むことが大事だと思います。新聞を読んでいるとだんだん面白くなってきます。

そして今、大学では、政治経済学部などもございますので、一つそういうふうに通じて、まず入っていくということから始めていただきたいと思います。



○仲小路議員



本当に素晴らしい視点だと思います。鋭い視点がたくさんありました。特に子育てあるいは青年への対応ですけれど、実は世界におきまして、日本というのは子どもに対する、また青年に対する予算というのは非常に少ないというのが現状です。

それとあわせまして、今後、何とかそういう予算を増やしながら、政策も増やしたいというのがこれからの大きな日本の課題でもありまた光市の課題であります。

そういった形でこれから進めていきたいと思いますが、比較においてもいろんなことを考えないといけないということがあります。偶然ですが、2月から子どもに対して、伴走型相談支援というのがありまして、妊娠したら5万円、出産したら5万円、合わせて10万円もらえるという施策が今回出ました。またいろんな子育てや妊娠中の様々な悩みにつきまして相談して解決するという対策も出てきました。これからのいろんな問題についても検討しないとけないと思っております。

また、先ほど政治について、なかなかわからないということがありましたけど、立派にわかっていると思います。それと、先ほど投票率の件がありましたけど、確かに低いというのが現状です。18歳以上だけでなく、それ以外の方の投票率も低いのではないかとことはありますが、実は18～19歳の年齢層の人口が約800人ほどで、有権者から言うと、約2%程度しかないという状況ですから、18～19歳が低いから投票率が低いと言うわけではないのですが、そういう意味で高齢者や全ての人を含めて投票していただくような政策が必要だと思います。そういう若い人と高齢者世代の交流によって、関心も深まると思いま

す。

また、委員会の中で、これから1年以上を掛けて、選挙の投票率の向上についてしっかり検討することにしております。そういう中で様々な対策をこれから検討したいと思っておりますので、いろいろ意見がありましたらぜひとも教えていただきたいと思います。

2 高校生と市議会議員の意見交換 要点筆記

① 聖光高等学校 山西 光叶 さん



私が光駅を利用した時、おばあさんが困っていたので助けてあげたんですが、その後に、とても気分が良くなったことがありました。東京で電車を利用した時に、東京の方は段差がなくて困っている人がいなかったのので、光駅も段差とか無くして、誰もが気持ちよく使えるような場所にしてほしいなと思います。

○笹井議員

JR光駅のバリアフリー化について、ちょっと現状はあまりいい話でないけど、お知らせします。一応、令和6年度中にですね、エレベーターそれから段差の解消と駅舎の建て替えをする予定で、市議会でも令和2年に議決をして計画を進めておったんですが、現在、JR西日本と光市役所の協議がちょっとですね、なかなかうまくいっておりません。これが、昨年12月議会で私どもも初めて聞いたところでございます。

JRを含めて鉄道のバリアフリー化については、国のバリアフリー化法というのがあって3,000人以上の利用がある所はバリアフリーにしなければいけないと決まっております、下松駅・柳井駅・徳山駅・南岩国駅、全部3,000人以上のところはバリアフリー化してま

す。JR光駅は今、1日の利用客は約3,800人で、バリアフリー化の対象になっているんですけども、JRとの話が今ちょっと、若干止まっております、私どもも今後できるだけですね、これが実現できるように、自分たちとしても取り組んでいきたいと、考えております。

② 光高等学校 大城戸 椿 さん

今、高校でトイレの臭いがきつくて、汚いというのが一番問題です。



○仲山議員

県の施設ということで、学校のことはあるんですけども、学校のトイレの水洗化というのは、光市内の中学校、小学校なんかも問題になっていて、今それがどんどん改善されて、各校で、ある程度の数の水洗化が進められているところです。

多分、県の方の施設に関しても、同様なことは多分、方向性として持っているだろうとは思っているので、いつということはここで言えることではないですけど、徐々に改善されていくものだと思います。でも、今聞いてちょっと驚きました。

③ 聖光高等学校 江本 光希 さん

野球部なんですけど、自分たちの専用のグラウンドがないので、専用のグラウンドが欲しいです。



○萬谷議員

僕らの頃、昔は今のサッカー場のところで野球部が練習してまして、ちょっと強打者がおると皆ほぼネットを越えていって、どんどんどん高くなったという声があります。

でも、今は聖光高校の話だと思うので、なかなかこちらが声を出すわけにはいかないと思うんですけど、今はどうなんですかね。光丘高校で一応やっているんですかね。

今のところ、一応練習場はあるんだけど、これから光丘高校の行く末がだんだん決まっていけば、また使えなくなってくるなという不安が多分あると思うんです。

その辺は聖光高校の学校の問題としても、光市の問題としてとらえていってですね、練習場がないというのは本当に辛いもので、私も身に染みて分かっていますので、またいろんな方とお話して、協力できるところは協力していきたいと思っております。

○西崎議員（司会）

皆さん、高校卒業されてですね、光市に帰ってきたいなという方もいらっしゃると思うんですが、そういう方は手挙げてみてください。将来、光市で就職をしたい人。

（挙手なし）

いないですか。それではどうして光市に帰れないか、理由をどなたか述べていただけますか。林さんどうですか。光市に。将来帰ってこれない理由。

④ 聖光高等学校 林 健太郎 さん



少しはちょっと都会に行ってみたいなっていう気持ちがあります。

○西崎議員（司会）

議員の方から、ただ今のお答えに対して、聞いてみたいとか質問がありますかね。中本議員いかがですか。

○中本議員

議会の方から質問をするっていうことは、ちょっと差し控えないといけないかな、というふうに私は思っております。

今日はゆっくりとこの議場の中でいろんな思いや遊び心、あるいはスポーツ、いろんなことを語っていただいて、それから雰囲気を作っていくながら、この意見交換会をしっかりと盛り上げようという考えでした。

先ほどからいろんな提言をしていただきまして、本当によく地元のことを考え、しっかり思ってるんだなっていうことで安心をしました。



それともう一つですが、いろんな思いを言っていただきました。投票率の向上の問題やまちづくりの問題、大きな課題である光市政についてもしっかりと胸に留めたいと思います。

投票率の向上については、皆さん方に投票教育をしっかりやっていかなければいけないなというふうに思っております。本当に今日はこちらが勉強になりました。ありがとうございました。

○西崎議員（司会）

それでは高校生の皆さん、次に何か聞いてみたいこととか質問はございますでしょうか。何でも結構です。聖光高校の中村さんいかがですか。

⑤ 聖光高等学校 中村 圭稀 さん



じゃあちょっと、月の給料はいくらですか。

○西崎委員（司会）

市議会議員の給料がいくらかということでもいいですかね。これはどなたに答えてもらいますかね。木村議長から答えてもらいますか。議会代表でございますから。

○木村議長

一般の議員と議長、副議長、委員長等、役職がついていらっしゃる方で多少違うんですけど、基本的には37万円でございます。

それから、ただいま給料というふうに申しあげましたけど、我々は給料ではなく報酬という形でいただいています。ですから、国会議員は歳費という形で給与制になっていますけれど、我々地方議会議員は報酬ということになっています。



⑥ 光高等学校 松本 沙樹 さん



現在、光市には道に多くのでこぼこがあるんですけど、その修繕や保全といった計画はあるのでしょうか。

○田邊議員

光市全体の道路に関しては、市道、県道、国道とあるんですよ。それであるとは、法定外公共物としての道路もあつたりするので、いわゆる市道として予算的には約1,000万円～1,200万円ぐらいだと思われるんですけど、その中で光市の市道のでこぼこを全部直すような予算じゃないという形になっております。

しかし、国なり県なりの計画で、その部分がかかった場合には、国、県の補助があつて、直つたりするところがあります。そうは言っても、皆様方はそういったものがわからないので、自分の家の前がでこぼこで、他所の家の前は綺麗になったよ、という感覚があるかもしれません。

公共インフラっていうのは、計画的にやっていくような形で、何年も何年もかかる問題で、最初に出来たものからだんだんだんだん痛んでくる。それを計画的に直していくんですけど、それを全て治すような予算はなかなかないんですね。

今後とも、そのあたりがちょっと悪いとかいったような皆様の声があれば、私ども議員に申し出てください。そのあたりはまた調査して、執行部なりに報告し、いついつという返答を私どもが返すようにしますので、どうぞよろしくお願いします。

○西崎議員（司会）

ただ今の田邊議員の答弁の中で、法定外公共物という言葉が出てまいりました。おそらく高校生の皆さんはわからないと思うので、田邊議員、易しくもう一度その部分を説明してください。

○田邊議員

法定外公共物というのは、いわゆる市も国も県も管理してない部分で、整備もまだなかなかできてないところもあるんですね。

国、県、市では、管理できない部分という形で思っただけであればいいんですが、いわゆる赤線、青線とか言うところです。

○田中議員

せっかく光市も取り組んでいることがあるので、PRがてら、ご説明をさせていただけたらと思います。

今、光市の方がですね、公式LINEというものを開設しまして、道にでこぼこがあった時はLINEを使って写真を撮ってですね、通報いただくと市道であれば市が対応して補修してくれるっていう制度があります。なので、ぜひ、光市の公式LINEに登録してもらったらと思います。

もし、穴ぼこにはまってですね、怪我をしたときとかは、市の損害賠償の話にもなりますので、こういった危険な場所がありましたら、速やかに光市の方に公式LINEを使って通報していただけたらと思いますので、よろしくお願いします。



⑦ 光高等学校 田村 凱大 さん



僕は自分自身、生き物がとても好きで、光高校に登校してるんですけど、その時によく動物の死骸を見るので、そういう動物を保護するような施設とかを作っていただけたら嬉しいなと思って、お願いします。

○森戸議員

そうですね、市道とかの道路に動物の死骸がある場合はですね、ぜひ通報していただいたら、迅速に市の環境事業課が処理をしますと思いますので、市の方に通報をしていただけたらと思います。

それと、動物を保護する施設のようなものが欲しいというよ



うなことでしたけど、一つはですね、動物をどのように飼うかっていうところがポイントだと思います。動物を捨てたりですね、そういう飼い方をされる方が結構おられて、いろんなところで困っています。

以前ですね、中学生か高校生からだったと思いますけれども、ペットの飼い方教室というのをやってみたらどうかっていう意見があって、そういったものが今、実際に開催をされていたと思いますので、そういうものを広めていくっていうのが一つかと思います。

まずは節度を持ってペットを飼うということが一番大事なかなと思います。そこをどうするかっていうところが一番のポイントだと思います。

⑧ 聖光高等学校 岩崎 愛奈 さん



通学するときには道が狭くて車と接触しそうになることが時々あるので、歩行者が通る所を広くしてくれたら良いなと思います。

○河村議員

国も通学路の整備について

は、積極的にやっております、予算上も十分な対応をしているようでございます。

市についてはどうかという話になりますが、簡単に直る箇所でしたらこの数年でもやってきたと思います。ただ、それ以外のところについてなかなか改善できない所も残っているようです。

先ほど田中議員からラインアプリの話がありましたが、そういったお気付きの点がありましたら、それを利用して市の方に通報していただければ改善されると思いますので、よろしくをお願いします。



⑨ 聖光高等学校 高橋 昊汰 さん



私は外で遊ぶことが好きなんですが、室積に住んでいて遊ぶ箇所が少ないので、公園みたいなものを作っていただければ助かります。

○仲山議員

高校生くらいになると、外での遊びについてどんなことを想定しているのか、話を聞きながら思ったんですが、室積は海もありますし、山もあります。そういう意味では自然な遊びというのは比較的あるのかなと思います。

確かに、遊具やアスレチック的な物になると、室積には高校生が楽しめるような物は確かに思い浮かばないですね。

実は、僕は20年前に光市に越してきたんですけど、ここは遊ぶところがいっぱいあるので飽きないねと思って引っ越してきたんです。

その気になれば結構面白いところだと思います。ちょっと視点を変えてみたら、遊ぶところがたくさんあると思いますので、ぜひやってみてください。

⑩ 光高等学校 松本 沙樹 さん



現在、光駅の活性化という話はよく聞きますが、島田駅や岩田駅では老朽化が進み、あまり活性化されていません。私はよく登下校の際に岩田駅を使うのですが、岩田駅ではゴミが放置されていたり、駅全体が老朽化しており、駅の柱が朽ちかけていたりするところがあります。

岩田駅の近くには、病院があるので、活性化してもいいと思うんですが、その点はどのようにお考えですか。

○大田議員

今、光駅の活性化の話が出ておりますが、島田駅と岩田駅はまだかというふうな質問だったと思います。島田駅と岩田駅は建物が建てられてかなりの年月が経過しており、保存に重点をおいたらどうかという話も出ております。ですので、活性化も良いのだろうけど、保存に重点をおく方向も良いのではないかなという思いもしております。



また、最近ですが、岩田駅前に屋根付きの自転車置き場ができました。それは議員の皆さんが、利用者が雨の日は着替えるのが大変だから屋根付きにしてください、というお願いをしてくださったわけです。徐々に周りが活性化するように、今後とも進んでいくと思っております。

また、コンパクトシティということで県道の拡幅も計画され、今、徐々に工事も行っております。駅裏もどういう風にしようかななどの意見も出ておりますから、一気に進まないとは思いますが、徐々に岩田駅も活性化が進んでいくと思っています。

島田駅も駅前にバスの乗り入れができなかったのですが、現在は乗り入れができるようになっております。三島橋も綺麗になったし、徐々に島田駅周辺も進んでいくように思っております。そのように執行部の方をお願いして、施工してもらうように尽力しておりますので、少しずつですが進んで行っていくと思っております。



3 傍聴者アンケート集計

(1) 今回の意見交換会の感想、意見等をお聞かせ下さい。

- ・ 光市議会本会議場に初めて訪問させて頂きました。
光市のためいろいろな議題を議員の方々が話し合われる場所、とても背筋の伸びる気持ちでした。そこで、高校生が自分の思いを述べる事ができ、とても貴重な体験ができたと思います。光市には総合体育館はありますが、市民球場がありません。スポーツ施設を増やして、スポーツから光市を元気にして欲しいと思います。今後も若者の意見を聞いて頂ける機会を作って下さるとありがたいと思います。本日はありがとうございました。
- ・ 今回の会によって、政治に興味をもつ事ができたのではないかと思います。参加した生徒は良い経験ができたと思います。
- ・ 高校生という若者の意見を聞くことができる良い機会だと思いました。本日参加した13名の高校生だけではなく、光高校、聖光高校の生徒の誰からも意見を聞くことができるようになると、若者目線の考えをより多く知ることができると思いました。
高校生の意見交換会は事前に参加生徒に意見を考えてもらっておく(事前に送るなど)と、より多くの意見が出たと考えられる。また、より具体的な質問であれば、高校生も答えやすいかもしれません。
- ・ 高校生のアイデアはすばらしいと思う。しかし、思うことがあれば活動につなげて欲しい。若者の社会参加活動が少なくなっている世の中ですが、現在、コミュニティスクールが広まろうとしているので、地域住民にも力を借りる活動もよいのではないかと。議員も高校生の意見の中で出来そうなものを新しく取り入れる考えを示して欲しい。
議員に対しての質問が高校生は少なく、ある程度考えてきてほしかった。高校生も市政に対する関心をもつとよいのではないかと。こういう機会は多く持つと良いと思う。
- ・ まずは、高校生に如何に政治を身近に感じてもらえるか、…楽しみです。
市議に自慢話をして欲しい訳じゃないけど、市議として議員活動&実績を披露して欲しかったな～
地域の人の困り事をどう解決したのか？それによって地域の人はどう変わったのか？それが政治を身近に感じ、将来自分も地域の困り事を解決してみたいという心が芽生えるかも……。ま、皆、その前に投票に行っただけ。
- ・ 高校生の発表には、未熟な面もあるが、議員の皆様には、まずは受け止めて、努力を認めてから議員なりの思いを発言して頂きたい。一部の議員の発言が少し気になりました。
意見交換について、予め内容をある程度準備設定して、活発な時間となるよう工夫してほしい。
- ・ 高校生が今後の光市の街づくりに真剣に取り組んでいるのに感心した。
本日の主張を聞き流すのではなく、実現に向けて議会も動いたらと思う。
議会の仕組みやクイズの時間があつたが、プログラムより10分経過した。もっと意見交換などに時間を取って欲しい。
高校生個人を指名して質疑させるのは、多少無理があるかも？事前通知があるかも。緊張が見える。
次年度以降も続けて欲しい。他団体との意見交換会も考えてほしい。
- ・ 残念だったこと：議場を思春期・青春時代固有の、ハツラツ、ムンムン、ウキウキにつくりあげられなかったこと。大人側のリーダー不足か？演出不足か？そうなるこそ確かな効果につながる。

6回の進歩がない。事前の話し合いや、多少の演出が必要では。

良かったこと：普通でない経験の場こそ、普通でない人物を造る。いい時間が共有出来ました。

10年後27歳頃、地方自治のあり方等、長期にわたる生々しい話題がよかった。

期待したいこと：長年矛盾を持つ続ける町の体質を課題に格上げし、具体的改善策の実行に向かうリーダーになってもらいたい。(個人でフーテンの寅さん方式で成果を出すか、組織をつくり水戸黄門さん方式でいくのか)

4 参加高校生アンケート集計

(回答13 回収率100%)

(1) 市議会の役割や活動は理解できましたか？

- | | | |
|--------------|-------|----|
| ①理解できた | _____ | 9人 |
| ②ある程度理解できた | _____ | 4人 |
| ③あまり理解できなかった | _____ | 人 |
| ④理解できなかった | _____ | 人 |

(2) 今まで市議会に関心はありましたか？

- | | | |
|--------|-------|----|
| ①あった | _____ | 1人 |
| ②少しあった | _____ | 6人 |
| ③なかった | _____ | 6人 |

(3) 今日、参加して市議会に関心を持つ事はできましたか。

- | | | |
|---------|-------|----|
| ①持てた | _____ | 9人 |
| ②少し持てた | _____ | 4人 |
| ③持てなかった | _____ | 人 |

(4) 今回のような意見交換会を開催することについて、どう思いますか？

- | | | |
|-----------|-------|-----|
| ①積極的にやるべき | _____ | 12人 |
| ②必要性を感じない | _____ | 人 |
| ③わからない | _____ | 1人 |

(5) ズバリ、市議会議員をはじめとする政治家になりたいと思いますか？

- | | | |
|-----------|-------|----|
| ①なりたと思った | _____ | 3人 |
| ②特になりたくない | _____ | 3人 |
| ③わからない | _____ | 7人 |

(6) 今回の意見交換会の感想・意見等をお聞かせ下さい。

- ・自分達の知らないところで、町のために色々なことを考えて実施してくださってることを知ることができたので、とてもいい経験になりました。
交差点で自動車と歩行者が分離している所があると思いますが、その分離した交差点をもっと増やしたらいいと思います。
- ・議員の人と意見を交換することで、光市が実際に行っていることを知り、議会に興味を持つことができました。とてもいい経験ができました。

- ・議員の皆さんがどのような活動を行っているのか、前から興味を持っていたので、とても充実した時間でした。私もいつか行政職員になりたいと思いました。何かアドバイスがあったら教えてほしいです。本日は本当にありがとうございました。
- ・高校生も参加できそうなSNSを使ったイベントを開催していただけると嬉しいです。
- ・今回の経験は二度とできないので体験できてよかったです。今度たくさんの方の前で発表する機会があると思うので、そのときは今回の経験を活かしていきたいです。幼い子の支援について、何をしているのか知りたいです。
- ・花火大会はありますか？
- ・ぐるりんバス、大和まで来てください。
- ・今回の意見交換会で、ふだんは知らない事や、自分の意見が言えたので、とても良い経験になりました。
- ・議員の仕事は大変で素晴らしいなと思いました。いつもありがとうございます！お疲れさまです！
- ・カラオケまねきねこの後地はどうなるのか。図書館や市役所が暗くて入りづらいので明るくしてほしい。貴重な機会をありがとうございました。
- ・自分は島田に住んでいて、下松みたいに遊ぶ場所がほしいです。